

2 環境学習

県民一人ひとりが環境を正しく理解し、環境に負荷をかけないライフスタイルを実現・実行することこそが環境保全にとって最も重要であるという考えのもと、環境保全の実践に結びつくものとするため、各種講座の開催など環境学習の機会の提供を行っている。平成27年度の環境学習の取組については、以下のとおりである。

2.1 彩の国環境大学

県では、平成9年度から環境科学に関する知識を持った専門的な人材を育成するため、彩の国環境大学を開講している。今年度も、環境に関する広範囲かつ専門的な知識の習得を目的として基礎課程、実践課程を開講した。

開講期間：8月23日～11月23日。各課程全10回。受講者：63人。修了者：53人。

開講式公開講座

開催日	講義名	講師名
8月23日	大気汚染－局地汚染から越境汚染まで－	埼玉県環境科学国際センター 総長 坂本和彦

閉講式公開講座

開催日	講義名	講師名
11月23日	地球温暖化－国連気候変動パリ会議(COP21)後の温暖化対策－	国立研究開発法人国立環境研究所 理事 原澤英夫



開講式公開講座



閉講式

基礎課程

開催日	講義名	講師名
10月10日	地球環境・埼玉の環境 埼玉県の温暖化の実態とその影響 －温暖化の生物・農業・健康への影響－	埼玉県環境科学国際センター 担当部長 嶋田知英
10月10日	廃棄物管理 持続可能な社会を求めて －江戸から現在までの廃棄物事情－	元日本工業大学 教授 小野雄策
10月17日	自然環境 蝶相の変化からわかること	環境省 希少野生動植物種保存推進員 巢瀬 司
10月17日	環境経済学の基礎	東京経済大学 准教授 野田浩二

開催日	講義名	講師名
10月24日	化学物質 化学物質と私たちの暮らし	埼玉県環境科学国際センター 担当部長 野尻喜好
10月24日	埼玉の環境 埼玉の環境－現況と対策－	埼玉県環境部環境政策課 主任 永吉雄一
10月31日	水環境 健全な水循環と里川の再生	埼玉県環境科学国際センター 主任研究員 田中仁志
10月31日	環境法学 環境と法	東京経済大学 教授 礮野弥生
11月 7日	大気環境 埼玉県の大気環境	埼玉県環境科学国際センター 担当部長 梅沢夏実
11月 7日	環境国際協力 日本の環境国際協力	(独)国際協力機構 地球環境部 森林・自然環境グループ 安元彩佳

実践課程

開催日	講義名	講師名
8月29日	環境学習の現状と課題 環境学習の今後の取り組み	立教大学(前日本環境教育学会 会長) 教授 阿部 治
9月 5日	環境学習から環境まちづくりへ 学びと参加をつなげひろげるコーディネーターの役割	NPO法人 エコ・コミュニケーションセンター 代表 森 良
9月12日	環境学習プログラムをデザインする 環境学習プログラムをデザインする(演習)	学びの広場 代表 小川達己
9月19日	事例研究① 地域で実践する里山保全活動	むさしの里山研究会 理事長 新井 裕
9月19日	事例研究② 行政・学校・市民とのコミュニケーション	埼玉県環境アドバイザー 浅羽理恵
9月26日	生物多様性の保全について 生物調査方法の実践(生態園にて実地演習)	(公財)埼玉県生態系保護協会 統括主任研究員 高野 徹

2.2 公開講座

彩の国環境大学修了者フォローアップ講座をはじめ、センター施設を活用した生態園体験教室、県民実験教室を開催した。

講座名	開催日	テーマ	参加者
① 彩の国環境大学修了者フォローアップ講座 環境保全活動や環境学習活動を行う彩の国環境大学修了者の支援を行うため開催している。	1月23日(土)	講演「よくわかるPM2.5～初歩から発生源まで～」 活動事例発表 「車のエコ運転」	34人

講座名	開催日	テーマ	参加者	
<p>② 生態園体験教室</p> <p>生態園における観察会や野外活動を通して身近な環境のしくみの理解や自然と生活との共生のあり方における自然環境保護意識の向上を図るため開催している。</p> 	4月29日(水)	自然は友達！ネイチャーゲームで遊ぼう	84人	
	5月5日(火)	自然観察会 見てみよう感じてみよう 春の生態園	51人	
	5月31日(日)	春のバードウォッチングを楽しもう	24人	
	7月18日(土)	川の生き物で環境調査をしよう	39人	
	8月1日(土)	昆虫の標本を作ろう	35人	
	8月8日(土)	竹で工作しよう ～うぐいす笛～	72人	
	11月14日(土)	ダンボールクラフト ASIMOを作ろう	77人	
	11月14日(土)	自然観察会 見てみよう感じてみよう 秋の生態園	60人	
	12月12日(土)	実りのリースを作ろう	47人	
	2月20日(土)	小枝で作ろう好きなもの	31人	
	2月28日(日)	冬のバードウォッチングを楽しもう	25人	
	3月6日(日)	絶滅危惧種を守ろう ～希少野生植物「サワラノオ」の植え替え体験～	21人	
	<p>③ 県民実験教室</p> <p>簡易な科学実験やリサイクル工作を通して環境保全意識の向上を図るため開催している。</p> 	4月26日(日)	スパイダーロボットを作ろう	122人
		5月4日(月)	偏光万華鏡を作ろう	114人
5月6日(水)		サイエンスショー「もくもく」	212人	
6月21日(日)		廃油からリサイクル石けんを作ってみよう	44人	
7月20日(月)		水の性質を調べてみよう	71人	
7月22日(水)		何が電気を通すか調べてみよう	77人	
7月26日(日)		大気の状態を調べてみよう	40人	
8月16日(日)		乾電池チェッカーを作ろう	118人	
9月27日(日)		身近な物の中の化学物質を調べてみよう	23人	
10月25日(日)		音と振動のなどを調べてみよう	23人	
11月14日(土)		サイエンスショー 「空気がチカラもち！？」「-196℃の世界」	536人	
12月13日(日)		草木染めをしてみよう	43人	
12月20日(日)		廃油からクリスマスアロマキャンドルを作ろう	47人	
1月24日(日)	びりりん！静電気であそぼう	51人		
3月27日(日)	偏光万華鏡を作ろう	104人		

(28講座、計2,225人)

2.3 身近な環境観察局ネットワーク

環境に関心がある県内の個人や団体に、簡易な環境調査法を学習する機会を設けている。観察局数:70局(平成28年3月31日現在)。

身近な環境観察局では、年間を通じて大気・水質・酸性雨・一般指標生物・ハンノキとミドリシジミの調査を行っている。

平成27年度は新規応募者研修会を3回、大気測定会を5回実施した。また、身近な環境観察局ワーキンググループ活動成果発表会を実施し、観察局間の交流を図った(2月27日(土) 参加者24人)。

2.4 研究施設公開

ゴールデンウィーク、夏休み、県民の日に研究施設の一般公開を行っている。

開催日		内容	参加者
5月6日(水)	ゴールデンウィーク	普段非公開の研究施設を見学するツアーを実施	94人
8月5日(水)	夏休み		80人
11月14日(土)	県民の日		94人

(計268人)

2.5 その他

ゴールデンウィーク、夏休み、県民の日等に各種イベントを実施した。

イベント名	開催日	内容	備考
① ゴールデンウィーク特別企画	4月25日(土)) 5月6日(水)	・オリエンテーリングクイズ ・サイエンスショー ・各種環境講座	参加者延 5,041人
② 夏休み特別企画	7月18日(土)) 8月30日(日)	・オリエンテーリングクイズ ・サイエンスショー ・研究所公開	参加者延 6,814人
③ 県民の日特別企画	11月14日(土)	・サイエンスショー ・自然観察会 ・研究所公開	参加者延 3,998人
④ 上映会	4月25日(土)) 3月27日(日)	・「恐竜大研究」「カブト×クワガタ」 ・「ワイルドライフ」シリーズ ・「若田光一の仕事」他	参加者延 2,638人

(計18,491人)